

会 議 録

1 会議名

平成28年度第2回大島区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- ・地域活動支援事業の審議及び採択・不採択の決定（公開）

3 開催日時

平成28年5月31日（火）午後2時00分から午後5時00分まで

4 開催場所

大島コミュニティプラザ2階 市民活動室1

5 傍聴人の数

—

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田國男、石塚総子、内山愛治、高橋和夫、高橋光成、武江一義、中村朝彦、早川丈夫、丸田新一、丸田新一、本山啓市、吉原忠正
- ・事務局：大島区総合事務所 古田所長、滝沢次長、武田市民生活・福祉グループ長 小酒井班長、熊木主事、宮本地域おこし協力隊員 浦川原区総合事務所 奥田所長
(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容

【中村会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・本日の会議録の確認は、委員番号2番の石塚委員にお願いする。
- ・本日は年度初めということもあり、産業建設グループの集約先である浦川原区総合事務所の奥田所長が参られているため、ご挨拶願う。

【奥田所長】

挨拶

(挨拶の後退席)

【中村会長】

それでは、地域活動支援事業の審査に入る。3つのグループに分かれてグループ協議をしながら、採点表に点数を記入していただきたい。

【丸田新一委員（委員番号9番）】

事務局に質問する。募集要項の審査の視点に対し、採点表の審査基準で増えている項目がある。募集要項には、採点表の①公益性の目標（達成すべきこと）が明確なものか、③実現性の経費の使途が適切なものかが記載されていない。何か意図があるのか。

【古田所長】

事務局の誤りである。募集要項は毎年作成しているが、採点表は過去からのものを使用しているため、内容に若干の差が出ている。

【丸田新一委員（委員番号9番）】

それはわかるが、家でチェックしてきたため、採点表と合わず採点しづらい。

【古田所長】

恐縮だが、再度採点をお願いします。

【中村会長】

事業提案者は、その事業を採点しないように採点から外れていただく。

- ・「大島ほたるコンサートの25周年記念事業」は、早川副会長
- ・「生きる力を学ぶ・考える防災教室 in 石巻市」及び「地域でかがやくほたるのこおり」事業は、委員番号10番の丸田新一委員
- ・「仁上駐車場整備事業」は、委員番号11番の本山啓市委員

グループ協議の終了時間を午後3時20分までの1時間をお願いします。グループで協議をして、採点は個々で行い、時間までに採点したものを事務局に提出し、集計に移れるようにすることとする。スムーズな協議をお願いします。

また、グループでどのような協議が行われたかについて、後ほど各班長に発表いただく。各班長は、発表できるような協議の進行をお願いします。

(グループ協議を行う)

予定時刻を30分過ぎたが、まだ集計が終わらないため地域活動支援事業の審査の関係ではなく、次に移らせていただく。

本来であれば、本日の議題が終了してから次回の開催について決めるが、時間の関係もあるので、先に決めさせていただく。滝沢次長に説明をお願いする。

【滝沢次長】

次回の開催について提案する。今年度は、委員改選もあったことから、改めて地域の現状等を地域協議会にて検討するよう、自治・地域振興課から25区の担当者へ依頼がきている。

今現在、木田庁舎からの諮問もなく、この件については出来るだけ早い方が望ましいと考えることから、6月に第3回地域協議会を開催できればと考えている。

人口・世帯数・高齢化率等の推移を基に、大島区の現状を皆様から改めてご理解いただきたいと考えている。

また、地域協議会だよりの発行についてもその中で協議いただきたい。

【中村会長】

事務局は、次回の開催について、いつ頃が適当と考えているのか。

【滝沢次長】

6月20日の週が適当ではないかと考えている。

【中村会長】

では、6月20日の週の開催を検討する。皆さん20日から24日の間で都合の悪い日はあるか。

(日程調整)

【中村会長】

都合の悪い日だけ把握して、事務局で決めてはどうか。

自治・地域振興課からの依頼ということは、木田庁舎からも職員が来るのではないか。

【滝沢次長】

木田庁舎の職員は来ない。事務局で資料を作成して説明を行う。

【中村会長】

では、木田庁舎から職員が来ることはないということでよいか。

【滝沢次長】

よい。

【中村会長】

22日という声があったが、皆さん22日でよいか。

(異議なし)

【滝沢次長】

では、6月22日をお願いします。

【中村会長】

今回は、6月22日水曜日の午後2時ということをお願いします。

先ほど滝沢次長から話があった、地域協議会だよりの発行について、委員も変わったので市民の皆さんに早くお知らせした方がいいだろうと考える。

編集委員会を早々に開く、例えば来週にという手もあるが、いつものように地域協議会終了後、編集委員会を開くということにすれば、発行は遅れるがそれも1つの手ではないか。何か意見はあるか。特に、委員番号5番以前の委員が今回の編集委員になるかどうか。

(異議なし)

では、編集委員会は次回の6月22日の会議終了後ということにする。

(地域活動支援事業の採点の集計が終わり、結果の配布)

【古田所長】

事務局から説明してよいか。

【中村会長】

では、皆さんのところに採点結果の一覧表は回ったか。事務局は説明をお願いします。

【滝沢次長】

採点結果を申し上げる。

- ・事業No. 1の大島ほたるコンサートの25周年記念事業（以下事業No. 1と表記）が22点
- ・事業No. 2の仁上駐車場整備事業（以下事業No. 2と表記）が21点
- ・事業No. 3の大島小学校創立20周年記念事業（以下事業No. 3と表記）が20点
- ・事業No. 4の菖蒲発電所記念碑移転及び関係資料等収集事業（以下事業No. 4

と表記) が 20 点

- ・事業No. 7の地域でかがやく「ほたるのこおどり」事業(以下事業No. 7と表記) が 20 点
- ・事業No. 5の雪原棚田アートとLED雪蛍事業(以下事業No. 5と表記) が 19 点
- ・事業No. 6の生きる力を学ぶ・考える「防災教室 in 石巻市」(以下事業No. 6と表記) が 18 点
- ・事業No. 8の旧旭小学校跡地整備事業(以下事業No. 8と表記) が 10 点となった。これを基に皆様から事業の採択の決定をお願いします。

【中村会長】

集計結果が出たが、各班長からグループ協議の結果の発表をお願いします。1班の内山愛治委員。

【内山愛治委員】

1班では、

- ・事業No. 6について、事業提案者から112千円の減額が可能であると説明があったためその話を反映した。
- ・事業No. 5について、食料費及び町内会の施設使用料を補助対象外とする意見が出た。
- ・事業No. 8について、土づくりからしなくてはいけないという中で、今回は事業を見送った方がよいという意見が出た。

【丸田新一委員(委員番号9番)】

2班では、

- ・事業No. 4について、工事の見積書が1通しかない。提案の段階で10万円以上は見積書が2通必要だと書いてあるのだから、事務局が受け付けるときに確認して、資料を揃えるべきであったと思う。
- ・事業No. 8についても、見積書が1通しかないうえに、見積もりの内訳もついていない。これも事務局が確認しているべきであると思った。
- ・事業No. 5について、食料費は補助対象外とした方がよい。
- ・事業No. 6については、112千円を減額すること。

【武江一義委員】

あと、採決において最低得点を決めて、その得点以下を採用しないという意見もあった。

【吉原忠正委員】

3班は、

- ・事業No. 6について、年少者を連れて行ってどれだけの価値があるのか、学校教育の中で防災対策として教育をしているのかという思いもあるが、体験学習もいいのではないかという意見もあった。
- ・予算額より130万円上回っている中で、事業No. 8については、次の機会に事業提案をしていただくことになった。

【中村会長】

皆さんの中で補足的な説明をしたい方はいるか。

(異議なし)

それでは、私から提案させていただく。

皆さんから話が上がったように、

- ・事業No. 8については、来年度でもいいという話があったので、今回は不採択とする。
- ・事業No. 5については、食料費と町内会の施設使用料を補助対象外とし48千円の減額とする。
- ・事業No. 6については、112千円を減額することが可能ということで減額とする。
- ・その時点で181千円の予算不足である。181千円であると残りの事業No. 1から4及び7の5件の総額に対して181千円は約4.5%である。
- ・事業No. 1から4及び7をそれぞれ約5%ずつ減額することにより、事業No. 1から7までを採択としてはどうか。
- ・点数順で採択・不採択を決めて、2次募集を行うということも不可能ではないが、さほど大きな金額にならないため、提案者の皆さんから少しずつ負担を増やしてもらおうということでどうか。細かい金額は、事務局に精査してもらおうが、5%であれば各団体で何とか処理できる金額ではないかと考えるがどうか。

(異議なし、賛成の声)

では、それぞれ減額をしたうえで事業No. 1から7までを採択とする。金額については、後で事務局に確認してもらうが、今計算した数字を報告する。

- ・事業No. 1は申請額820千円に対して780千円
- ・事業No. 2は申請額1,000千円に対して950千円
- ・事業No. 3は申請額450千円に対して430千円
- ・事業No. 4は申請額1,000千円に対して950千円
- ・事業No. 5は申請額380千円に対して330千円
- ・事業No. 6は申請額966千円に対して860千円
- ・事業No. 7は申請額731千円に対して700千円での採択とする。

もう一度言うが、事業No. 5は48千円の減額、事業No. 6は112千円の減額、その他の事業は95.4%とし、全事業に対し千円単位を上げ下げして万単位になるようにした。

(事務局の確認完了)

【古田所長】

再度最終決定を報告願う。

【中村会長】

では、もう一度報告する。

- ・事業No. 1は申請額820千円に対して780千円
- ・事業No. 2は申請額1,000千円に対して950千円
- ・事業No. 3は申請額450千円に対して430千円
- ・事業No. 4は申請額1,000千円に対して950千円
- ・事業No. 5は申請額380千円に対して330千円
- ・事業No. 6は申請額966千円に対して860千円
- ・事業No. 7は申請額731千円に対して700千円

ということで、今年度の地域活動支援事業を採択させていただく。

よろしいか。

(賛同の声)

本日の主要な審議は終わったが、その他に配布資料の説明が事務局からあるのか。

【滝沢次長】

次第に主要事業・プロジェクトの概要と書いたが、皆さんのお手元に配布してある。上越市の主要事業の関係がまとまっているため、ご確認いただきたい。

【中村会長】

内容の説明はないのか。

【古田所長】

今年度の予算で重点的に取り組む事業が書いてあるが、残念ながら直接大島区に関わるものはない。中山間地直接支払や防災組織の関係や地域支え合いといったような全体の中で関わるものは当然あるが、単独の事業での計画はない。参考までに、市が行っている事業をご理解いただくためにご覧いただければと思う。

また、私の方からその他の報告をさせていただく。本日5月31日現在で、小雪・水不足の関係で把握している水稻の作付けができなかった田んぼは、上達で1筆約620㎡、仁上で1筆約一反であると報告を受けている。今後降雨の状況によっては植え付けする予定であるところもあるため、最終的には変動があるであろうがそのような状況であるをご承知おきいただきたい。

また、先ほど市の安心安全メールで安塚区の高沢地内で熊の目撃情報があったためお知らせする。

【中村会長】

上達的水稻の作付けできないものは、私が昨日見たとき2枚あったが。

【古田所長】

今日の報告では、4枚だったが、うち3枚は作付けできそうだということだ。

【中村会長】

3枚は作付けしたが、この天気だと苗が枯れてしまうかもしれない。あと1枚は代掻きが上手くいかず、もう1枚は代掻きがしてあって、私が見たときは作付けしてなかったが、植えたかもしれない。

【古田所長】

このままいくとおそらくだめであろうというのがこの2筆である。

【武田G長】

第1回地域協議会の時に大島区の主な事業ということで資料を配布し説明した事業のうち、大島中学校の大規模改造事業、資料の表の29番について主にトイレの全面

改修を6千万円程で予定していたが、この事業については学校施設環境改善交付金という文部科学省の補助金を活用して実施する予定であった。ところが、全国で耐震補強が終わっていない学校が多くあるということで、今年度は耐震補強に重点配分するという国の方針が決まり、上越市では9校の改修を予定していたが全て他市に配分された。財源が確保できなかったため、今年度は実施しないこととなった。中学校へは、教育総務課が説明を行い、校長から了解を得ている。

教育関係の大きな事業が見送りとなったことを報告させていただいた。

【中村会長】

本日は、朝から長時間の審議をいただいたが、これで閉会としてよいか。

(異議なし)

では、以上をもって第2回地域協議会を閉会とする。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-594-3101 (内線 61)

E-mail : oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。